

令和3年度 教育部の運営方針

部(局)	教育部	部(局)長	福島 潔
理事(監)	中平 好美 (学校教育担当)	理事(監)	(担当)

【基本方針】

教育部では、中学卒業までを見据えた継続的・系統的な教育活動により確かな学力を育み、子どもたちの健やかなところからだの育成を図っています。そのため、中学校区を単位とする幼小中一貫教育を推進し、学校、家庭、地域が連携した取組の充実をめざしています。

学校教育におきましては、令和2年度から小学校、令和3年度から中学校で新しい学習指導要領が全面実施となりました。子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」が求められる中、文部科学省が進める「GIGAスクール構想」の実現に向けて昨年度に整備した一人一台タブレット端末を効果的に活用し、子どもたちの学習意欲や学力の向上を図ってまいります。

また、多様化する子どもたちへの教育支援や学校のニーズに対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家をはじめ、学校教育を支援する外部人材を積極的に活用し、教育環境の充実を図ってまいります。

教育施設の整備につきましては、老朽化や大型化する台風などへの対応をはじめ、トイレの洋式化を計画的に進めてまいります。加えて、災害発生時における市民の指定避難所としての役割を持つ体育館への空調設備に取り組んでまいります。

生涯教育においては、次期「柏原市生涯学習推進計画」の策定を行い、市民の生涯学習の機会を促進・充実させるとともに、青少年の健全育成活動に努めてまいります。

さらに、史跡をはじめとする文化財の適切な維持管理を行うことにより、歴史的、文化的資産の保護と継承を図り、歴史資料館の展示、講座、講演会を通じて地域の歴史を市民が学ぶ機会を創出してまいります。

柏原市ウエブサイトを通じ、歴史資産の魅力発信を積極的に行うことで、市民が地元に対する愛着と誇りに思う心を醸成してまいります。

【重点目標】

1	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和3年度 達成状況
	幼小中一貫教育の推進					B
2	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和3年度 達成状況
	学力・体力の向上					B
3	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和3年度 達成状況
	教育支援の充実					B
4	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和3年度 達成状況
	教育機会の均等と安心、安全な教育環境					A
5	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	生涯学習	令和3年度 達成状況
	誰もが学びたいときに学べる多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツを提供します。					C
6	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	歴史・文化	令和3年度 達成状況
	文化財の保存、整備、活用					B

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 1	幼小中一貫教育の推進
--------	------------

今年度の達成目標
幼小中一貫教育の推進により、子どもたちが感じる校種間の段差を更に軽減させます。



達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校は楽しいですか」に「楽しい」と答えた割合(小学校1年生)と生活アンケート「学校は楽しいですか」に「楽しい」と答えた割合(中学校1年生)は、昨年度と概ね同じ傾向でした。	B 概ね達成



具体的取組	
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置します。	
所管室・課	指導課
具体的取組	
わくわくスタート事業や幼小中一貫教育コーディネーター会議を実施します。	
所管室・課	指導課



具体的な取組実績
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置しました。小・中学校の両方の授業を受け持つことや、専門性をいかして小学校における外国語の指導を担うことにより、小中の連携が進み、子どもたちは校種間の段差を乗り越えやすくなっています。
具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくスタート担当者会を開催し、各校での取組内容を集約して、共有しました。また就学前施設と小学校との交流活動を各校にて実施しました。 ・幼小中一貫教育コーディネーター会議を開催し、各校の取組について共有しました。



総合評価・総括
<p>就学前施設と小学校の各担当者が集まり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と小学校のつながり」をテーマに協議することで、互いのカリキュラムにおいて幼小の連続性を持たせることができました。また年長と1年生の直接の交流は、コロナのため実施できませんでしたが、お手紙やビデオレター等の交流を行い、年長は就学への期待を高められ、1年は上級生になる気持ちを育むことができました。</p> <p>幼小中一貫教育コーディネーター会議において、学力の向上、生活指導上の課題等について協議することで、中学校区における特色ある教育の推進につながりました。</p>

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
各校区の一貫教育がより効果的なものにブラッシュアップされるよう、取り組んでまいります。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 2	学力・体力の向上
--------	----------

今年度の達成目標
ICTを活用した授業改善に取り組み、学力の向上を図ります。
今年度の達成目標
体育の授業や部活動の充実により、体力の向上を図ります。

達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、全国学力・学習状況調査における対全国比は、小学校において前回(令和元年)実施時の値を1.5%上回り、全国を超える結果となりました。	C 一部達成
達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における所定種目の対全国比は、中学校において前回(令和元年)実施時の値を2.5%上回り、全国を超える結果となりました。	B 概ね達成

具体的取組	
学力向上推進委員会を年間10回実施します。 ICT支援員、学校司書及び外国人英語指導助手(ALT)を全校に配置します。	
所管室・課	指導課
具体的取組	
全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、全校に周知します。 部活動補助指導員を各中学校に配置します。	
所管室・課	指導課

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進委員会はコロナの影響で9回の実施となりましたが、ICTを活用した効果的な授業づくりについての研究が進みました。 ・ICT支援員を各学校に週に1回以上配置することにより、授業や教材づくりのサポートが充実しました。 ・学校司書を小学校に週4日、中学校に週1日配置することにより、図書室の環境が整い、「学習・情報センター」的機能の充実につながりました。 ・ALTを全校に配置し、学んだ英語を実際に活用することを通してコミュニケーション能力を育成しました。
具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果分析を市のホームページ上に掲載することにより、学校だけでなく広く市民に向けて体力の状況を周知しました。 ・専門的な技術指導力を備えた外部の指導者を部活動補助指導員として各中学校に配置することにより、専門の競技とは異なる部を顧問する教員を支援し、生徒への指導を充実させました。

総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> ・学力については、総じて「思考力・判断力・表現力」に課題があることが分かりました。 ・体力については、新型コロナウイルス感染症の影響も推察されますので、感染対策を講じながら、子どもたちが楽しんで自ら体を動かそうとする教育活動や体力向上の取組が必要です。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ・「思考力・判断力・表現力」を軸にした確かな学力の育成をめざし、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりや研究体制づくりを推進してまいります。 ・ICTを有効に活用した「分かる授業づくり」を推進してまいります。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 3	教育支援の充実
--------	---------

今年度の達成目標
学校の教育支援を充実させ、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるようにします。



達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校の中に相談できる大人はいますか」に「いる」と答えた割合は、昨年度に比べて2%向上しました。	B 概ね達成



具体的取組	
スクールカウンセラーを全小学校及び教育研究所に配置します。スクールソーシャルワーカーを2名を拠点校に配置します。	
所管室・課	指導課
具体的取組	
学校教育支援指導員や日本語指導員を学校のニーズに応じて配置します。支援教育コーディネーター会議及び研修会を実施します。	
所管室・課	指導課



具体的な取組実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーを3名配置することにより、相談体制を整え、悩みや不安を抱えている児童・生徒及び保護者を支援しました。 ・スクールソーシャルワーカーを2名配置することにより、関係機関との連携して児童・生徒の様々な環境に働きかける支援を行いました。 ・両者がそれぞれの専門性を生かすことにより、学校の課題を解決・改善につながりました。 	
具体的な取組実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力や地元の大学との連携を生かし、学生等のボランティアを学校教育支援指導員として学校園に派遣しました。 ・帰国、渡日等の園児・児童・生徒に対して日本語指導員が日本語の指導を行い、日常生活に支障のないよう支援しました。 ・支援教育コーディネーター会議や研修会を開催し、障がいのある子ども一人ひとりの状況に応じた適切な指導、支援につなげました。 	



総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの全小学校への配置により、心理面での不安の解消や、発達検査にスムーズにつなげることができました。今後も早期対応をより一層進めていきたいと考えています。 ・スクールソーシャルワーカーを2名配置し、専門機関との連携が進み、子どもを取り巻く環境の改善につなぐことができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
スクールソーシャルワーカーの全中学校区配置に向け、取り組んでまいります。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 4	教育機会の均等と安心、安全な教育環境
--------	--------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」の見直しを進めます。	「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」の見直しを進め、各中学校区の基本的な方向性を見直しました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
快適な教育環境の整備を進めます。	快適な教育環境の整備のため、トイレの洋式化、学校体育館空調設備の設置を進めました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績		
柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会を開催し、答申を得ます。	人口推計を行うとともに、柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会を4回開催し、教育環境と効果的な学校教育の在り方について、検討を行いました。審議会では学校規模・学校配置の適正化についての考え方や小中一貫教育を推進する観点から議論しました。		
<table border="1"> <tr> <td>所管室・課</td> <td>学務課 教育総務課</td> </tr> </table>	所管室・課	学務課 教育総務課	
所管室・課	学務課 教育総務課		
具体的取組	具体的な取組実績		
トイレの洋式化と学校体育館に空調設備を設置します。	玉手小学校、堅下北小学校、堅下北中学校、玉手中学校のトイレ洋式化工事を行いました。また、柏原中学校、玉手中学校の学校体育館に空調設備を設置しました。		
<table border="1"> <tr> <td>所管室・課</td> <td>教育総務課</td> </tr> </table>	所管室・課	教育総務課	
所管室・課	教育総務課		

総合評価・総括	全体の達成度
<p>○「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」の見直しを進めるため、柏原市小・中学校適正規模・適正配置審議会を開催し、答申を得ることができました。</p> <p>○令和3年度の目標として掲げた小中学校のトイレ洋式化工事と学校体育館の空調設備の設置について、計画どおり該当する学校の工事を完了し、目標を達成することができました。</p>	A 達成

今後検討すべきこと
<p>○パブリックコメントを行い、新たな「柏原市小・中学校適正規模・適正配置基本方針」を策定します。</p> <p>○令和4年度以降も快適な教育環境の整備を行うため、計画的に、トイレの洋式化と学校体育館の空調設備の設置をはじめ、優先順位をつけて学校施設の整備や修繕を行ってまいります。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 5	誰もが学びたいときに学べる多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツを提供します。
--------	---

今年度の達成目標
公民館、図書館の利用人数の向上に努めます。



達成状況	達成度
公民館では、コロナ禍の影響により、市民文化祭を中止したことや、貸館利用制限や休館の措置を取ったことにより、利用者数は21,621人(R4.2月末現在)にとどまりました。また図書館では新規事業として閉館時(緊急事態宣言時)の宅配サービスを実施し、宅配貸出冊数・2,025冊の実績となりました。	C 一部達成

今年度の達成目標
市民意識調査の「スポーツ振興」の満足度を高めます。



達成状況	達成度
新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出等の影響により、各スポーツ施設の開場日数が減少したこと、また、その後も人数制限を受けたことや「柏原シティキャンパスマラソン」等のイベント事業が中止されたことにより、利用者数は減少しました。	C 一部達成



具体的取組
公民館、図書館の利便性の向上と講座・蔵書等の充実に努め子どもから高齢者まで気軽に利用できる生涯教育事業を進めます。



具体的な取組実績
公民館では、コロナ禍ではありましたが、感染症対策を徹底し、市民のライフスタイルに応じた利用ができるよう、土・日・祝日や、夜間にも開館し、多様な講座を開催しました。また、図書館では、ズームによる「おはなし会」を3度に渡り開催するなど、非接触・非来館型イベントの取組を進めてまいりました。

所管室・課	公民館・図書館
-------	---------

具体的取組
堅下北スポーツ広場などのスポーツ施設の運営、柏原シティキャンパスマラソン等の事業の充実により市民が身近にスポーツに親しめる環境を整えます。



具体的な取組実績
新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出等の影響により、市内の各スポーツ施設では、当初に計画した利用者数の確保や事業についての充実に努むことができませんでした。また、イベントや事業については、「柏原シティキャンパスマラソン」が中止となりましたが、秋季市民体育大会や各スポーツ教室につきましては、時期を考慮しながら実施してまいりました。なお、体育大会は9競技・約2,100名、スポーツ教室は13教室・約2,200名の参加実績となりました。

所管室・課	スポーツ推進課
-------	---------

総合評価・総括
各所管とも令和3年度は前年度と同様、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、感染症対策としてアルコール配置や稼働席数の削減等を徹底したこととあわせ、イベントの中止や開催時期の変更、施設の稼働日数調整、開館時間の短縮など考えうる限りの対策を実施してまいりました。そのため利用者数はコロナ禍以前に比べ減少傾向となりました。また、これらの経過と緊急事態宣言により、完全に貸館や対面の図書貸出し等の事業がストップした事例を踏まえ、新しい事業として、貸出し本の宅配やオンラインを活用した非対面での事業実施を模索し、コロナ禍の中での市民サービスの向上に努めてまいりました。

全体の達成度
C 一部達成

今後検討すべきこと
今後、事業を実施するにあたっては、ウイズコロナを見据えた実施形態の選択肢を広げていく必要があると考えています。具体的な事例として、図書館における電子書籍の導入、おはなし会のオンライン化、歴史資料館や公民館における各講座や講演会のオンライン化、健康づくりのためのスポーツ動画の配信研究など、緊急事態宣言の発出により閉館を余儀なくされた場合等への対応として、非対面で事業実施できる体制の構築を前年度までの事例を踏まえ、備品調達を含め一層強化してまいりたいと考えています。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 6	文化財の保存、整備、活用
--------	--------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
史跡をはじめとする文化財の適切な維持管理及び整備に努めます。	定期的な点検、調査、清掃等、市有史跡の維持管理や整備を行いました。	B 概ね達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
文化財の活用を図ります。	平尾山古墳群説明板設置のほか、オンラインによる資料館や市内の文化財の紹介などを10回程度開催しました。また、旧石器から弥生時代の柏原市の文化財や歴史を知ることのできる「柏原の歴史Ⅰ」を刊行しました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
史跡清浄泉の斜面保護対策事業を実施します。また史跡鳥坂寺跡について、遺構の劣化防止対策を行います。	史跡清浄泉の斜面保護対策事業に関し、対策工事実施のための設計業務を実施しました。史跡鳥坂寺跡につきましては、草刈を行い遺構の維持管理に努めてまいりました。
所管室・課 文化財課	
具体的取組	具体的な取組実績
文化財説明板の設置、改修を順次行います。	文化財説明板1基を製作し設置いたしました。
所管室・課 文化財課	

総合評価・総括	全体の達成度
文化財課としての文化財活用といたしましては、ビジュアルヒストリーガイドなどオンラインを活用した取組を実施するなど新たな取組を進めることができました。史跡などの維持管理につきましては例年どおり実施してきましたが、史跡を活用するための整備につきましては、検討するための委員会を開催できないなど取組がやや遅延しています。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
従来からの取組については概ね達成できており、文化財を活用していくための整備や情報発信などについても一定の成果はあるものの、更なる文化財の活用に向けて、今後新たな手法の導入などを検討していきます。